

ストッパーサドル仕様書 (S S)

1. **適用範囲** この仕様書は、ABS工法（エアバッグ式止水工法）に使用するストッパーサドルについて規定する。

2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この仕様書に引用されることによって、この仕様書の規定の一部を構成する。これらの規格は、その最新版を適用する。

JIS G 4303	ステンレス鋼棒
JIS G 5502	球状黒鉛鉄品
JIS G 5527	ダクタイル鉄異形管
JIS K 6353	水道用ゴム
JWWA K 139	水道用ダクタイル鉄管合成樹脂塗料
KIS A 171	フッ素合金ボルト・ナット仕様書
KIS A 172	電着塗装合金ボルト・ナット仕様書

3. **構造、材料及びその品質** ストッパーサドルの構造、材料及びその品質は、付図による。

4. **形状、寸法及び許容差** ストッパーサドルの形状、寸法及び許容差は、付図による。

5. **外 観** ストッパーサドルの外観は、次による。

5.1 鋳造品の内外面は、滑らかで、鋳巣、ひび、著しいきず、鋳りその他使用上有害な欠点があるてはならない。

5.2 塗装後の仕上がり面は、塗に残し、塗りだまり、泡、膨れ、はがれ、異物の付着、著しい粘着、その他使用上の有害な欠点がなく、表面は滑らかで、寒暑によって異常を生じないものでなければならない。

6. **塗 装** ストッパーサドルの塗装は、次による。

6.1 サドル、バンド及びキャップ、栓及び、栓押えの塗装は、JWWA K 139 2 液性エポキシ樹脂塗料を用いて、カチオン電着塗装方法により施すものとする。

6.2 T頭ボルト・ナットの塗装は、KIS A 171 による。

7. **検 査** 検査は、次による。

7.1 ストッパーサドルの検査は、構造、形状、寸法、外観及び塗装について行い、その成績が3.～5.の規定に適合しなければならない。

7.2 材料の検査は、3.に規定する日本工業規格又は仕様書による。ただし、栓ナットについては、材料製造業者の発行する材料試験成績書による。

7.3 形状及び外観の検査は、全数検査とする。

7.4 寸法は、製品 100 個又はその端数を一組として、その組から任意に 1 個を抜き取って検査する。

8. **表 示** ストッパーサドルには、見やすい場所に、次の事項を鋳出し、打刻などで表示する。

- a) トの記号
- b) Dの記号
- c) 水の記号
- d) 刻印座
- e) 製造年（西暦の下2けた）
- f) 製造業社名又はその略号
- g) 適用管種の記号
- h) 呼び径